

令和7年度  
中国環境パートナーシップオフィス  
中国地方ESD活動支援センター  
業務実施報告書(概要版)

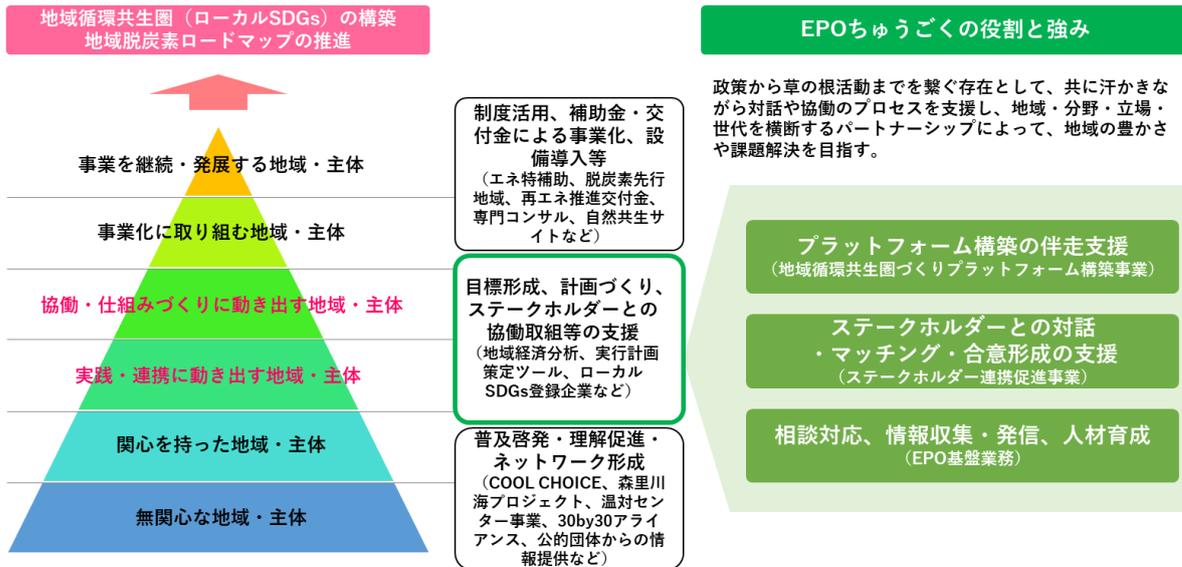
運営団体: 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

# 1 業務方針

## ① EPO ちゅうごく

### 地域循環共生圏の構築や脱炭素地域づくりの協働プロセスを支援するパートナー

EPOちゅうごくは、地域循環共生圏（ローカルSDGs）や地域脱炭素ロードマップ等を推進するために、環境教育等促進法第19条の拠点機能を基盤として、近年に培ってきた経済セクターや金融機関を含む幅広いネットワークを活かしながら、多分野・主体と共にアプローチするための中間支援組織（NPOや環境活動の支援セクター、温暖化防止活動推進センター、ネットワーク組織）等との連携を強化し、地域循環共生圏の構築や地域脱炭素ロードマップの推進に向けて「実践・連携に動き出す地域・主体」及び「協働・仕組みづくりに動き出す地域・主体」を主なターゲットとして、EPOちゅうごくが持つ強みやノウハウを活かした業務を展開する。



## ② 中国地方 ESD センター

### SDGsと気候変動教育を推進するための担い手育成

中国地方ESDセンターは、中国5県全てに登録されている11の地域ESD活動推進拠点と連携して、学校・社会教育のみならず様々なフィールドにおいて各地域の特徴あるESD取組を支援し、近年に拡充したユース（若年層の社会人、大学生、高校生）やローカルSDGsのネットワークを活かしながら、SDGs達成のためのプロセスを促進する。

また、気候変動を切り口として、社会を変えるために実践できる人づくり、脱炭素地域づくりと連動した教育実践、多様な価値観と対話による協創、気候変動対策（緩和と適応）を両立させる教育を推進するため、学校・社会教育拠点・ビジネスセクターをメインターゲットとして、個人の変容から社会の変容に向けてフォーカスした「ESDネットワーク×気候変動教育」のアクションを支援すると共に、ESD活動による教育の効果を可視化・評価する業務を展開する。

### 中国地方ESDセンターの役割と強み

環境省・文科省・地域を横断するネットワーク拠点として、中長期的にESDのノウハウや成果を蓄積しながら、地域ESD拠点との連携や機能強化を図り、ESD for 2030に向けた人材育成と社会を変革するための基盤構築を担う。



目的とする変容の対象（フォーカス）

	Focus 1 学習者の変容	Focus 2 教育者・実践者・組織の変容	Focus 3 ネットワークの変容	Focus 4 仕組みの変容	Focus 5 社会的インパクト（めざしたい状態）
学校					
社会教育拠点					
ビジネスセクター					
連携プラットフォーム支援体（自治体、温暖化防止センター、他）					

実践の対象・体制（対象領域）

全国のESD推進ネットワークで取り組む「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」をベースに、「フォーカスする変容（誰・何のどのような状態）」や「実践方法（体制と手法・作用）」を記入して、変容の目標と進捗を可視化・共有し、ネットワーク全体の事業評価にも適用する。

ESDネットワーク×気候変動教育の進捗の可視化マトリクス様式

## 2 EPO ちゅうごく業務

### (1) 基本業務

#### ① Web サイト等を活用した情報発信、PR、情報収集

EPO ちゅうごくのホームページ、SNS 等を活用し、各事業の実施状況のほか、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報等を地域内外へ発信した。また、内容に応じメーリングリスト等や SNS の活用による情報発信も行った。

##### <主な実績>

- ・情報（書籍、雑誌、会報、報告書、行事広報等）収集数：計 512 点
- ・ホームページ情報（行事、補助金・助成金、公募・募集、環境の話題等）発信数：計 1,784 件  
※積極的に収集・発信した情報…脱炭素地域づくり：計 252 件、OECM 関連：計 161 件
- ・メールマガジン（定期・臨時）発行数：13 回（3/19 時点で 1,026 件登録）
- ・SNS 発信数：111 回
- ・EPO ちゅうごくの行事開催報告（随時掲載）

#### ② 相談対応・対話の場づくり等

環境教育等促進法第 19 条に基づく拠点として、地域循環共生圏の構築や地域脱炭素の実現などに関する各種情報紹介及び相談者からの相談に対応し、助言や各種会合への参加等を行うこととし、必要に応じてパートナーシップ形成のための対話の場づくり、過去に対応した案件についてフォローアップを行うとともに、相談ニーズに応じて、関係構築、連携強化を目的として、EPO ちゅうごくとのパートナーになり得る主体が開催するイベント・セミナー等へ参加、主催者等の求めに応じた必要な開催協力、イベント・セミナー等広報協力を行った。

##### <問い合わせ・相談実績>

- ・広報協力、EPO 事業関連、情報収集、人材・事例紹介、団体活動や事業支援相談等：計 187 件

##### <主な対話の場づくり・開催協力等>

- ・自然共生サイト新規申請に係る官民との打ち合わせ
- ・大阪・関西万博のパビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」福山市場と計画について、活用方法模索のための情報提供と意見交換
- ・地球温暖化防止活動推進員の研修事業に係るプログラムや人材育成の事例について意見交換と開催協力
- ・早稲田大学地域循環共生圏伴走支援調査への協力
- ・広島湾さとうみネットワーク企画運営委員会／企画運営委員就任
- ・「デコ活地域交流会 中国・四国ブロック」の企画運営協力／コーディネーター
- ・フォーラム：北九州の環境都市づくりと公害資料館出席
- ・2025 年度中間支援組織役員向け合同研修「中間支援組織人材学校『春の集中講義』出席
- ・江田島市における未来の海づくり会議／講師
- ・公害資料館ネットワーク 2025 年度通常総会出席
- ・ひろしま環境ミーティング／実行委員着任、「ひろしま環境ミーティング in 似島」開催協力
- ・エコアクション 21 普及戦略会議／委員就任 など

### ③ 地域からのグリーン社会の実現に向けたステークホルダー連携促進事業

地域に存在する「ヒト（ステークホルダー）」、「モノ（資源）」、「カネ（金融・経済）」、「情報（ノウハウ）」を繋ぐ場（情報交換会、ワークショップ等）を通じて、グリーンでレジリエントな社会を実現した「地域循環共生圏」のドミノを地域内に波及させるための地域内対話促進を図った。

#### <実施概要>

- ・ **建築業界向け情報交換会**：省エネ住宅の推進に向けたパートナーシップミーティング～環境ゲストハウス「島韻（toinn）」の視察交流～（11/27、広島県、株式会社プレゼントデザインとの共催）／ZEH水準の省エネ住宅「環境ゲストハウス島韻」の視察を通し、その性能や意義に対する共通理解を深め、省エネ住宅の推進に向けた行政・事業者・NPO・中間支援組織等の役割や連携の可能性について意見交換するとともに、住宅の省エネ推進の担い手のパートナーシップを構築。
- ・ **地域向け情報交換会**：いわみんローカル SDGs 編集会議（3/9、島根県鹿足郡津和野町）／「いわみん」がローカル SDGs のプラットフォームになることを通じ、島根県西部地域の体験イベントが環境・社会・経済にどのような成果を生み出しているのか、事業関係者や市民の理解促進をはじめ、交流・関係人口の創出を通じた持続可能な地域づくりを推進し、地域循環共生圏の構築に向けが機運醸成
- ・ **企業向け情報交換会**：エコアクション 21 企業交流会（2/18、岡山県岡山市、公益財団法人岡山県環境保全事業団との共催）／脱炭素中間支援機能の強化を伴走支援し、環境経営に取り組む企業同士、企業と脱炭素中間支援組織のステークホルダーのパートナーシップを促進し、地域循環共生圏や脱炭素地域づくりに向けた土壌を醸成。

### ④ 全国事業に関わる業務

各地方 EPO が実施する協働取組の効果最大化の検討を行う検討会議及び各地方 EPO 間の連携強化と情報共有を目的とした「全国 EPO 連絡会議」へ出席した。

#### <出席した会議>

- ・ 協働取組の効果最大化の検討を行う検討会議（2/5、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／協働取組事業で培ったノウハウの理解と共有を目的に、EPO 着任期間の短いスタッフの疑問、理解が及ばない点、EPO 内ノウハウ共有の課題等を議論
- ・ 第 1 回全国 EPO 連絡会（6/12、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／EPO/GE0C 及び EPO ネットワークの時代に即した役割や位置づけのアップデートについても議論と、地球環境基金との連携事業、外部団体との連携、協力等についての意見交換
- ・ 第 2 回全国 EPO 連絡会（11/4～5、滋賀県長浜市、オンライン会議併用）／各地方 EPO の基本業務の変遷整理を情報共有するとともに、次の 10 年で求められうる地方 EPO ごとの機能と新たな基本業務を検討するため、「全国共通で実施できるとよい業務」と「情報提供の方針・手法」について意見交換
- ・ 第 3 回全国 EPO 連絡会（1/15～16、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／EPO 機能の整理や新たな取組等を検討するとともに、来年度の基本業務、地域循環共生圏の創造に資するための推進業務、地球環境基金との連携業務について確認。また、来年度意向を見据えた企画として、GE0C30 周年企画や 2 月 5 日（木）に実施する検討会議に関して意見交換

## ⑤ EPO ネットワークとの情報交換会

持続可能な地域づくりにおいて、地方 EPO が身につけておくべき最新のトピックをテーマに情報交換を行った。

### <出席した会議>

- ・ 地方 EPO ネットワークとの情報交換会（9/30、オンライン会議）／EU の農業振興政策である LEADER 事業の事例を通じてリージョナル・マネージメントの考え方を理解するとともに、国内で活用していく上での可能性や課題について議論

## ⑥ EPO ネットワークの連携強化

中国四国地方環境事務所管内の地方 EPO 間連携強化を目的に、四国地方環境パートナーシップオフィス（四国 EPO）運営委員会において取組状況を把握するとともに、その他 EPO とも課題に応じた連携を図った。

- ・ 第 1 回四国 EPO 運営委員会（6/16、香川県高松市、オンライン会議併用）／R7 年度事業の事業計画の確認と地域ニーズや課題、業務で目指すあり方等についての意見交換
- ・ 第 2 回四国 EPO 運営委員会（3/10、香川県高松市、オンライン会議併用）／R7 年度事業の実施報告と次年度以降に向けた課題や要望、可能性についての意見交換
- ・ 第 1 回 GEOC・関東 EPO 運営委員会（6/6、東京都渋谷区、オンライン併用会議）／R7 年度業務実施計画書の確認と、各事業で目指すアウトカムや実施内容に対する協議、GEOC30 周年に向けて意見交換と、外部連携事業実施の承認
- ・ 第 2 回 GEOC・関東 EPO 運営委員会（12/16、東京都渋谷区、オンライン併用会議）／R7 年度業務実施計画書の進捗等に関する協議や助言と、GEOC30 周年の実施方針について意見交換
- ・ GEOC／地方 EPO 統括会議・合宿（12/8、12/18、12/23、1/6-7）
- ・ みちのく薪びと祭り Stage2 in 福島西郷（11/15-16）

## （2） 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

### ① 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

地域循環共生圏構築に向けた活動（構想づくり、体制構築、実現のための取組検討、中長期目標指標検討）を行う 3 参加団体に対し、中国四国地方環境事務所と連携し、活動団体に対して中間支援を行う中間支援主体へのサポート、アドバイス等を通じて必要な支援を行うとともに、中間支援主体の中間支援機能獲得、スキルアップを目指した。

#### <実施概要>

本事業の実施に当たっては、環境省をはじめとする関係機関と共に全国の進捗共有や事業スキームの改善を図りながら事業を推進した。

なお、本年度も引き続き、環境省本省、全国事務局が開催・運営する委員会、検討会、勉強会の多くがオンライン会議で視聴可能とされた。地方からの参加が可能となり、検討状況や事例など情報を得るため、スケジュール上支障ない範囲で参加した。

#### <参加団体の取組概要>

- ・ 2 年目：江田島市の取組（活動団体：一般社団法人フウド、中間支援主体：一般社団法人 HLL）

高齢化や人口減少が進行する広島湾の島しょ部。自然環境や農水産品を活かした体験型観光レクリエーションや環境学習等が盛んな地域。近年は移住者・起業者も増加するが、地域全体を網羅するネットワークは未熟である。本事業で地域が目指す将来のあり方の共有とネットワ

一化を図るとともに、環境資源の活用・保全を意識した事業・取組の展開、市域外のノウハウ、リソースとの連結等により地域の持続可能性を追求する。

- ・ 2年目：安芸太田町の取組（活動団体：NPO 法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ、中間支援主体：一般社団法人あきおた）

広島市の北に隣接する中山間地域で高齢化や人口減少、担い手不足が進む。中国山地の山林や太田川源流域等の自然を活かしたツーリズムやセラピー、田舎体験等が展開されているが、異業種間連携が乏しく、資源を生かした戦略設計や新たなプラン創出に結びつかずポテンシャルを十分に発揮できていない。地域内の情報交流機会を設け、観光だけでなく農業や環境保全、人材育成等、業種を超えた取組を進め、地域の持続的な発展の基盤を構築する。

- ・ 新規：鳥取県鳥取市等の取組（活動団体：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 さんいんみらい事業所、中間支援主体：市民エネルギーとっとり）

都道府県人口が国内最少の鳥取県は、若者の流出、社会の担い手不足が課題。省エネ・循環型社会を地域の新たな価値として環境配慮型の商品開発や仕事づくり、居場所づくりを通じ、人口流出抑制と移住定住促進、地域産業等の活性を図り、地域活性化を目指し、遊休農地のコミュニティガーデン化、食品等廃棄物の地域資源化、断熱改修や省・創エネを通じた生活の質の向上と仕事づくりに取り組む。

#### <参加団体への支援>

- ・ 中国地域の中間支援主体＋活動団体が対象の事業計画ヒアリング及び打ち合わせ、中間支援主体との定例ミーティング（年度中1回/月程度）、参加団体や運営チームも交えたミーティング（必要に応じて随時）、活動団体開催の地域ステークホルダーミーティングの企画運営支援（必要に応じて随時）、活動に必要なリソースとの連結（政策・制度情報提供、所感組織部局紹介、情報交換機会設定等、求めに応じて随時）

#### <情報共有、相互参照の機会>

- ・ 全国の中間支援主体（活動団体同席可）が対象のキックオフミーティング（5/29、オンライン会議）／地域循環共生圏の考え方と事業目的の再確認、中間支援機能に関するレクチャー、活動計画の相互参照
- ・ 中国地域の中間支援主体と活動団体が対象の中間共有会開催（10/14～15、広島県安芸太田町、有識者同席）／上半期の取組の中間報告、直面した障害や課題の共有と相互参照、活動上の悩み事解決や新たな視点獲得のための意見交換、関係者との情報交流
- ・ 中間支援主体（活動団体同席可）が対象の成果共有会「中間支援ギャザリング」（3/5～6、東京都千代田区）／全国の中間支援主体間で支援の振り返り、直面した障害や課題の共有と相互参照、今後の支援において重視するポイントの共有

#### <地方事務局関係者との議論>

- ・ 第1回事業検討会議（5/15、オンライン会議）、第1回作業部会（9/4、東京都渋谷区、オンライン会議併用）、事業検討会議（12/11、オンライン会議）、第2回作業部会（12/18、東京都渋谷区、オンライン会議併用）／全国・地方事務局（環境省、地方環境事務所、地方EPO等、GEOC、ERCA、有識者等）での進捗状況や課題と打ち手の共有、事業スキーム改善のための検討、次年度事業に向けた事業設計等を議論

## ② 地域循環共生圏構築に向けた身近な自然資本の活用に関する意見交換会

中国地方における自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップの促進及び、生物多様性のための30by30アライアンス、自然共生サイトへの理解・参加の促進、里海づくり等の推進を図ることを目的に、身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会等を開催した。

#### <実施した意見交換会>

- ・ **自然共生サイト中国地方ミーティング 2025**（11/25、山口県山口市、オンライン会議併用）／身近な自然資本を活用した地域づくりに関するパートナーシップ促進と地域循環共生圏（自立・分散型の持続可能な社会）の構築推進を目的に、環境省の制度説明や中国地方の取組紹介による情報共有、自然共生サイト認定団体と地域づくりに関する支援事業（里海づくりの推進等）に採択された団体とのグループディスカッション、質疑応答、情報交換を通して、今後の団体間の連携の在り方や自らの活動の方向性等について意見交換
- ・ **自然共生サイトのパートナーシップ意見交換会**（3/6、広島県三原市）／自然共生サイト認定団体の三菱重工業三原製作所「和田沖の森」の活動と三原市の自治体や環境団体との連携協力の可能性と課題、連携に向けたビジョンについて意見交換

### ③ 地域循環共生圏創造のための情報収集等

本業務を通じて地域での地域循環共生圏創造の担い手、背景情報及び活動状況について情報収集を行うとともに、担い手に対して地域循環共生圏に関する情報を提供するほか、つながりを持ち続けられるような関係性構築を図った。

#### <実施した情報交換>

- ・ 一般社団法人イワミノチカラ及び公益財団法人しまね自然と環境財団（5/1、オンライン）
- ・ 第 24 回 NPO・市民活動支援共有ミーティング（わくわく会議）（12/4、オンライン）

## (3) 中間支援組織の強化・活動支援

2023 年に広島で開催された「G7 広島サミット」で連携した各種団体との取組みをさらに発展させていくため、グローバル（グローバルとローカル）の視点から他分野の市民社会と関係を構築していくための情報交換会を開催した。

#### <実施概要>

- ・ **SDGs 市民社会ネットワーク地域ユニットオープンデイ&対面ミーティング**（10/9、広島県広島市）／中国地方や全国で地域を軸に SDGs に取り組んでいる主体同士が情報交流し、ローカル SDGs 取組団体の活動紹介を基に、グローバルな視点による地域活動の手法や 2030 年までの達成期限に向けた SDGs 後半年の課題、地域で取り組むべきこと等について意見交換
- ・ **みんなの市民サミット 2025**（10/10、広島県広島市）／核のない誰ひとり取り残さない持続可能な社会づくりを目的とし、防災・福祉・ジェンダー・ユースそれぞれの活動事例を共有し、活動分野の共通点や協働するための課題、グローバルな視点で取り組んでいくためのポイント等について意見交流
- ・ **中間支援組織人材学校「SDGs の本質から、地域課題について考える」**（11/8、広島県広島市・中国 5 県中間支援組織連絡協議会）／ローカル SDGs に取り組む全国及び中国地方の主体の情報交流や実践を促すことを目的に、RBA の実践に向け意見交換

## 3 中国地方 ESD センター業務

### (1) ESD 活動に関する域内情報の収集・発信

#### 及び ESD 活動に関する域内外への情報提供等

ESD 推進ネットワークのハブとして、全国及び各種のネットワークを活用し、ESD 活動を推進するために必要な情報・知見・ノウハウを収集するほか、国の政策や地域の活動、中国地方 ESD センターの取組等を効果的に発信するとともに、全国・地方センターと連携した情報発信を強化し、ESD の普及・啓発や活動の発展、広域的な情報交流、中国地方 ESD センター業務への理解促進を図った。

#### <主な実績>

- ・情報（書籍、雑誌、会報、報告書、行事広報等）収集数：計 281 点
- ・ホームページ情報（行事、補助金・助成金、公募・募集、ESD 情報等）発信数：計 954 件  
※積極的に収集・発信した情報…気候変動教育：計 112 件、地域 ESD 拠点関連：計 116 件
- ・メールマガジン（定期・臨時）発行数：EPO ちゅうごくメールマガジンと一体で発行
- ・SNS 発信数：59 回

### (2) ESD 活動に関する相談・支援窓口

ESD 推進ネットワークのハブとして、事業から得られた情報やノウハウ等を活用しながら相談及び照会に対応し、民間団体・地方公共団体双方の取組を支援することを通して、自主的・自発的な ESD 活動や協働の促進に努めた。

#### <問い合わせ・相談実績>

- ・広報協力、ESD センター事業関連、情報収集、人材紹介、研修・事業の相談等：計 69 件

#### <主な対話の場づくり・開催協力等>

- ・ユネスコスクール地方連絡会・地方セミナー／活動紹介
- ・国立大学法人島根大学 SDGs 入門デジタル教科書 第 5 章「ポスト SDGs/SDGs パイオニアからのメッセージ」／執筆
- ・COP TOTTORI 2025 テーマ別分科会「日常の選択が未来をつくる～衣・食・住から始める脱炭素アクション～」／登壇者、分科会ファシリテーター
- ・大学・小中学校 SDGs 学習等授業／講師（3 件）
- ・後援名義申請承諾：3 件

### (3) 域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供

#### ① 「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」の企画開催

気候変動時代の ESD を促進するために ESD 推進ネットワークで注力する気候変動を切り口とし、地域の状況やニーズに応じたテーマを定めた学び合いの機会を提供することを目的に実施

した。

#### <実施概要>

- ・ 中間支援組織役職員合同研修分科会「ゼロカーボンの推進に向けた脱炭素中間支援について学ぼう！」(4/25、岡山県岡山市) / 脱炭素を通じて目指したい地域づくりや中間支援機能について、理論や取組に係る事例紹介と意見交換
- ・ 中国 5 県の中間支援組織への話題提供及び意見交換 (11/19、広島県山県郡) / 「おかやま脱炭素中間支援プロジェクト」の取組紹介と質疑応答、意見交換と、中国 5 県の中間支援組織が取り組んでいる事業活動や組織運営について情報交流。

### ② 作業部会

気候変動を切り口とした ESD を推進するためのノウハウや課題を共有し、方策を検討する作業部会に参加し議論した。

#### <出席した会議>

- ・ 第 1 回気候変動教育作業部会 (7/9、東京都渋谷区、オンライン会議併用)
- ・ 第 2 回気候変動教育作業部会 (2/25、東京都渋谷区、オンライン会議併用)

### ③ ESD 推進ネットワーク全国フォーラム

R7 年度学び合いプロジェクトの成果や現在の取組状況について報告した。

#### <出席した会議>

- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラムでのパネルセッション (12/7、東京都豊島区) / ポスターセッション発表

### ④ 事業検討のための会合等参加

R7 年度に全国センター主導で各地域において実施を始める、高校における気候変動教育のプログラムの実証事業について、全国センターが開催するプログラム調整や実施に関わる会議、事業検討のための会合 (以下「事業検討のための会合等」という。) に参加。R8 年度に向けて実施可能な高校や地域の中で探求学習を先導している有識者や事業者に対し、ヒアリングの実施とニーズ把握。

#### <出席した会議>

- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラムでのパネルセッション (12/7、東京都豊島区) / ポスターセッション発表
- ・ 教職員等環境教育・ESD 推進リーダー養成研修 (7/12、岡山県倉敷市) / 参加

#### <ヒアリングの実施>

- ・ 気候変動教育 (地球温暖化防止関連) について、中国 5 県の高等学校の動向について情報収集 / 鳥取 6 校、島根 4 校、岡山 7 校、広島 10 校、山口 3 校
- ・ 気候変動教育 (地球温暖化防止関連) について、ヒアリングを実施 / 鳥取 2 校、広島 2 校

## (4) ESD 活動に関するネットワークの構築

### ① ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

地域の ESD 活動実践者等が、活動を効果的・効率的に行えるよう、ESD に関する情報提供や活動情報の相互共有などの支援を行うとともに、地域の ESD を推進するため ESD 推進ネットワーク地域フォーラムを開催した。

#### <実績概要>

- ・中国地方地域 ESD 拠点ミーティング（3/18、岡山県岡山市）／地域 ESD 拠点が取り組んでいる活動の特色や課題にフォーカスし、活動発展に向けた相互参照や課題解決、地域への波及効果、地域ネットワークの拡充等に寄与できるような事例共有と意見交換

#### ② 地域 ESD 拠点等の ESD 活動の支援（3（2）に準ずる）

地域の ESD 活動実践者等が、活動を効果的・効率的に行えるよう、ESD に関する情報提供や活動情報の相互共有などの支援を行うとともに、地域の ESD を推進するため ESD 推進ネットワーク地域フォーラムを開催した。

#### <実績概要>

- ・SDGs オープンカフェ「あつうみ×浜田港探訪」（5/18、島根県浜田市）／浜田港をはじめ日本海の変化や水産業について、情報提供と意見交換
- ・「いわみん 2025」企画打ち合わせ（7/17、8/20、島根県浜田市、オンライン）／9月に発行する情報誌「いわみん 2025」の特集ページについて、過年度に継続して地域 ESD 拠点等と連携して特集ページを制作するため、掲載内容について協議
- ・SDGs オープンカフェあつうみ～あつまれうみのなかまたち～「漁業と魚食の最前線を見て食べて学ぶ」（9/23、島根県江津市）／「漁業」と「おいしく活用して付加価値をつける」ことに焦点を当て、地元定置網で漁獲した魚介類を観察しながら、福島氏から水揚げされた魚種や漁獲物の鮮度維持の方法、定置網の現状等を解説と参加者同士の学び合いや意見交流
- ・ひろしま SDGs 交流会<SDGs 10th ANNIVERSARY>～SDGs10 周年の現在地とこれから～（9/25、広島県広島市）／過年度に実施した SDGs ビジネスセレクトブック事業をきっかけに生まれた交流会の開催運営支援
- ・釣ったらわかるいわみの SDGs（10/25、島根県浜田市）／石見の海の持続可能なあり方や SDG14（海の豊かさを守ろう）について体験を通して学びあった。

## **(5) 全国センター及び地方 ESD センターとの連携協力の推進等**

(3) ②の作業部会及び③ESD 全国フォーラムへの出席の他、全国センターが実施する各地方センターとの連携強化と情報共有を目的とした ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会へ出席した。また、全国センターが実施する全国協力団体意見交換会及び企画運営委員会に可能な限りオンラインにより参加し、全国センターの求めに応じて情報提供や資料作成・提供等について積極的に協力するとともに、同センターが実施する ESD 推進ネットワークの活動状況調査等に対しても積極的に協力・対応した。

また、四国地方 ESD 活動支援センターが開催する運営委員会に参加し連携強化を図った。

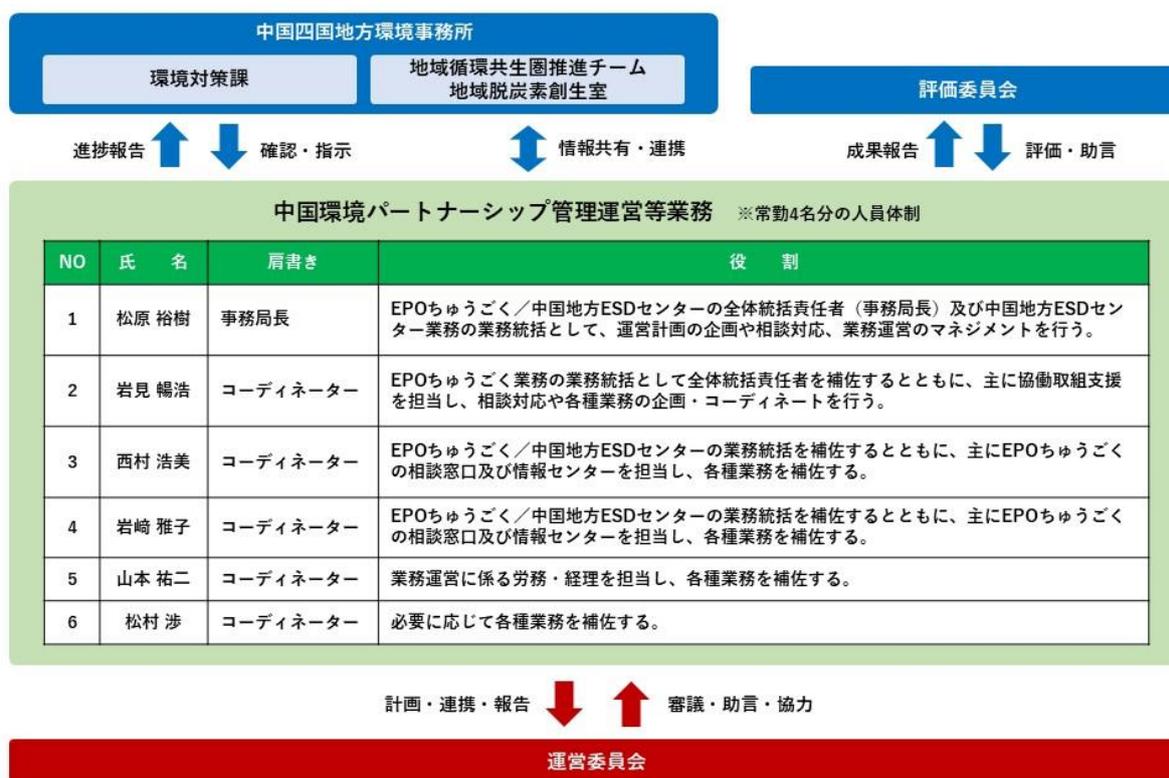
### **<出席した主な会議>**

- ・ 第 1 回 ESD センター（全国・地方）連絡会（6/13、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回 ESD センター（全国・地方）連絡会（1/16、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 1 回 全国協力団体意見交換会（7/8、東京都中央区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回 全国協力団体意見交換会（12/7、東京都豊島区）
- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2025「世代をこえて考える、気候危機のこれから」～子ども・ユースの声をきっかけにひろがる対話～（12/7、東京都豊島区）
- ・ 第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会（6/9、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会（2/25、東京都渋谷区、オンライン会議併用）
- ・ 四国地方 ESD センター第 1 回運営委員会（6/18、香川県高松市、オンライン会議併用）／今年度の事業計画、地域のニーズや課題、業務で目指すあり方等について協議
- ・ 四国地方 ESD センター第 2 回運営委員会（3/10、香川県高松市、オンライン会議併用）／今年度の実施報告、四国地方における ESD 推進に向けた現状課題整理と次年度の取組に向けた議論

## 4 管理業務

中国四国地方環境事務所や他地方環境パートナーシップオフィスと連携して、EPO ちゅうごく／中国地方 ESD センターの適切な管理運営に務めた。

### 【運営体制】



### <実施した内容>

- ・ 業務目標・業務運営計画の策定
- ・ 運営委員会の設置・開催（第1回：6/10、第2回：2/17）
- ・ 中国四国地方環境事務所との定例打ち合わせ（毎月1回）
- ・ 中国四国地方環境事務所の所内勉強会における活動紹介（1回）
- ・ 業務実施報告書の作成